「自動はかりの検定に関する説明会」について

計量法改正に伴う自動はかりの検定が始まっています。現在は新規導入の「自動捕捉式はかり」が対象となっておりますが、令和9年度からは使用中の「自動捕捉式はかり」も対象となり、ひょう量5kg以下で目量10mg以上の「自動捕捉式はかり」は検定を受けないと「取引」に使用できなくなります。

現在、令和9年度に向けた、使用中の「自動捕捉式はかり」の検定が始まっておりますが、受検される事業所が少ないのが現状です。これは令和8年度の受検を希望されるケースが多いと思われ、令和8年度に検定受検が集中すると期限までに間に合わない事業所が発生する可能性があり、非常に懸念される場所です。

また、自動はかりの検定に関する法令が改正される見込みとなっております。この件に関しましても、検定を受ける条件等において判断に苦慮される要因になっているものと思われまます。

適正計量管理事業所においては検定の有効期間が6年となりますが、その恩恵を受けるためには手続きに注意が必要なことが周知されているのかという疑問も残ります。

様々な要因から「自動はかり検定」の現状は厳しいものと考えておりますことから、検定を受けるための手順等や検査方法に加え、改正される法令についての説明会を開催させていただき、自動はかり検定に関する皆様の様々な疑問にお応えできる場を設けさせて頂きたいと考えました。

ひょう量5kg以下で目量10mg以上の「自動捕捉式はかり」を取引に使用する事業所において、計量管理、品質管理又は設備管理等に係る方々など、自動はかりの検定に係る皆様にお越しいただいて、令和9年度に向けた検定が滞りなく進められますよう、また、皆様のご理解が得られますように願っております。